# みんなで創る谷相地区 **咲かそう・実らそう谷相の夢**

#### 第 10 号平成 24 年 12 月発行 谷相地区集落営農組合

#### 大宮小学校との交流(直販部会)

#### その1 サツマイモ 掘って、食べて、 タマネギ植えたね

11月2日、直販農場で、大宮小学校の3 年生と一緒にサツマイモの掘り取り、食べ比 べ、タマネギの植え付けをしました。

子ども達は、お土産にサツマイモを沢山も らって帰り、家庭で料理してもらったそうで す。タマネギの苗も丁寧に畑に植えてくれま した。



タマネギの 苗をとる 子ども達

組合員の皆さんへ: 今年はタマネギの苗の出来 が悪く、お売りすることができませんでした。ご めんなさい。来年は期待していてね。

#### その2 ソラマメのバトンリレー

12月14日、大宮小学校でソラマメの苗の 受け取り式を行いました。

1年生の子ども達は 11 月 12 日に種を播 き、苗にメッセージを書いた札を立てて、大 切に育ててくれました。受け取り式では、「私 たちは、皆さんからもらった苗を畑に植えて、 大切に育てますので、来年の6月には谷相に 収穫に来てくださいね。楽しみにしています。」 と子ども達に応えました。

子ども達にソラマメのバトンをつなぐため、 無事に育つよう、皆さんも見守っていてくだ さいね。



私たちが育て たソラマメを よろしくね

#### その3 ニンジン、ダイコンを学校給食に!

夏場に太陽熱マルチをしていた畑に、9 月 11日、ニンジンの種を播きました。 おかげで 雑草も少なく、給食の規格に合わせて大きく なるよう、しっかり間引きをしてきました。 順調に太っていましたが、ちょっと寒さが応 えたようです。

12月14日には、ダイコンの種を播きまし た。4月の収穫を目指しています。

## 直販部会 会員募集!!



おいしい野菜 を作って、子ども 達と交流しませ んか。特に若い男 性は大歓迎です。 応援してね。

# 谷相クイズ「これ、誰だ?」

- ①夜、出ます。
- ②公会学などで会があるときは、晩ご飯の パンを与えて出かけないと、どこまでも ついてきます。
- ③「ごはんよ」と言うと、足の上を踏んづ けてスリスリ。とってもかわいい。
- 答えは編集後記

#### 農作業部会 今年の仕事納め

今年も無事、作業を完了しました。皆さん に籾がらを利用していただき、完全消化しま した。ありがとうございました。

委託者の声:「オペレーターさんに稲を刈ってもらって大助かりだった。ありがとう。」

25 年度も、共同防除、稲刈り、乾燥、籾摺りは 農作業部会に任せちょき!

## 谷相の米はうまい!(水稲栽培研究会)

毎年恒例となりました米の食べ比べ。今年 は、新品種「にこまる」の試食や「ヒノヒカ リ」の生産者比較を行いました。

「にこまる」の評価は上々でした。「ヒノヒカリ」は食味計の点数が高い米ほどおいしいという結果になり、品種は同じでも、作り方や田の条件で、米の出来や味に違いが出ることが明らかになりました。

研究会では、会員が作った米の食味と見た 目を機械で検査するとともに、エコファーマーの目標達成を目指して、米作りの勉強をしています。このような取組の結果、谷相の米の評判も上がっているようです。

来年の目標は、もっとおいしい米を作ることです!!

## 交流会「またきいや 谷相へ」

#### 一谷相の美しい風景と餅三昧一

11月18日、交流会を開催し、様々な体験交流を通じて谷相をPRしました。

散策マップを片手に参加者と一緒に集落内を歩きながら、お気に入りの風景をカメラに納めました。魔女の停留所や泰生さん宅の前では、遥か遠くの海を眺め、広くて青い空を仰ぎました。「とにかく空がきれい。」「どんぐりがたくさん!」と大騒ぎしながら、参加者は何枚も写真を撮っていました。

昼食は、自慢の米はもちろんのこと、地元



三十代の カーブミラー

(参加者撮影)



谷相城壁と青空

(参加者撮影)

「空が近い」

つきたて餅を ちぎって、丸め て連携プレー

で採れた野菜をふんだんに使った ぐる煮、 酢の物(りゅうきゅう、大根)、二ラのなめ茸和 え、漬け物など、女性陣が腕を振るいました。

臼と杵を使った餅つきは、初めて体験するという参加者もいました。つきたての餅を皆で丸めて、砂糖醤油やダイコンおろしをつけて味わいました。そして、待ちに待った餅ばぁし。拾う人もばぁす人も、それを見ている人も楽しみました。

今年の参加者は 14 名と昨年より少なかったものの、その分、行き届いたおもてなしと交流ができたように思います。「谷相に来たい」という人をもっと増やしていきたいです。

## 【編集後記】

「谷相地区の営農を考える集落アンケート 調査」にご協力ありがとうございます。<u>後継者の方は、年末年始など帰省した際に、是非ご記入をお願いします。</u>集計結果がまとまりしだい、皆さまにお知らせします。

今号は水稲栽培研究会で作成しました。皆 さんも谷相新聞の記者になってみませんか?

[クイズ答え:たぬきのぽんちゃん]